

公共交通に関する アンケート調査 実施結果

1. 調査概要(市民アンケート)

- * 目的 交通行動全体の概要を把握
- * 対象 無作為抽出した、16歳以上の市民3,000人
- * 日時 令和5年8月4日(金曜)～8月25日(金曜)
- * 方法 郵送で送付し、郵送もしくはWebで回答

2. 調査結果(市民アンケート)

(1)回収状況

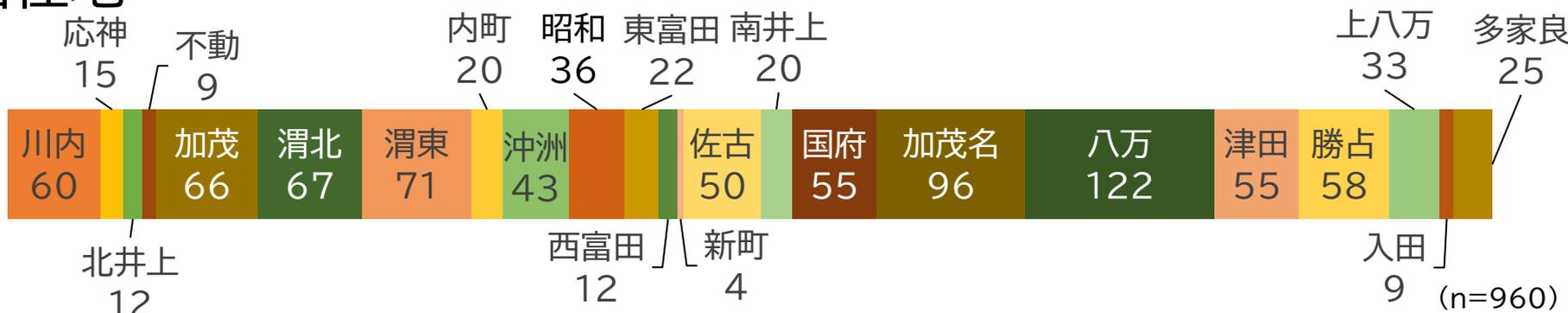
配布数	3,000
郵送による回収票数	701
Webによる回収票数	282
計	983

8/31現在

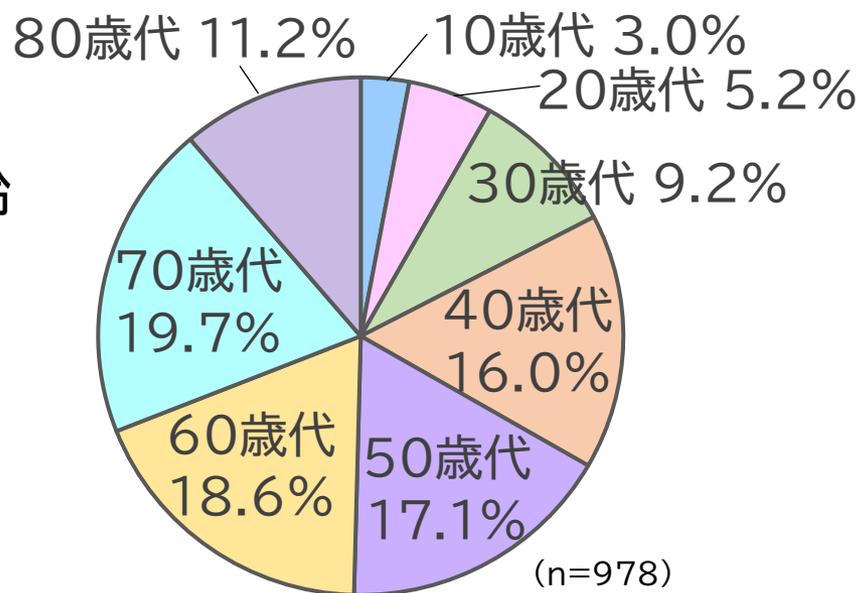
2. 調査結果(市民アンケート)

(2) 回答属性

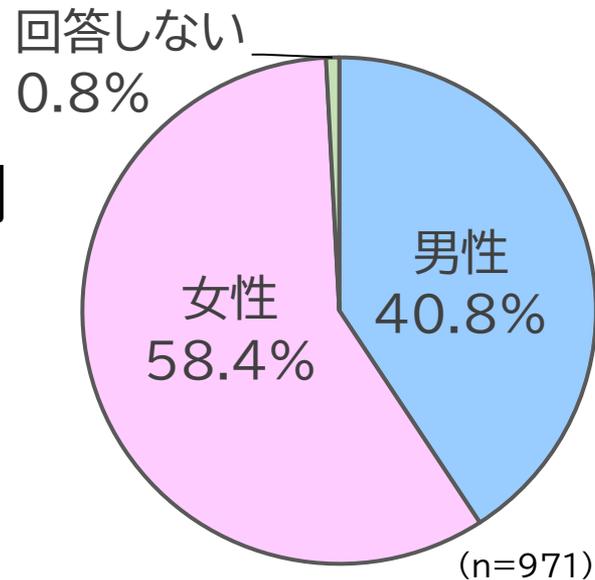
居住地



年齢



性別

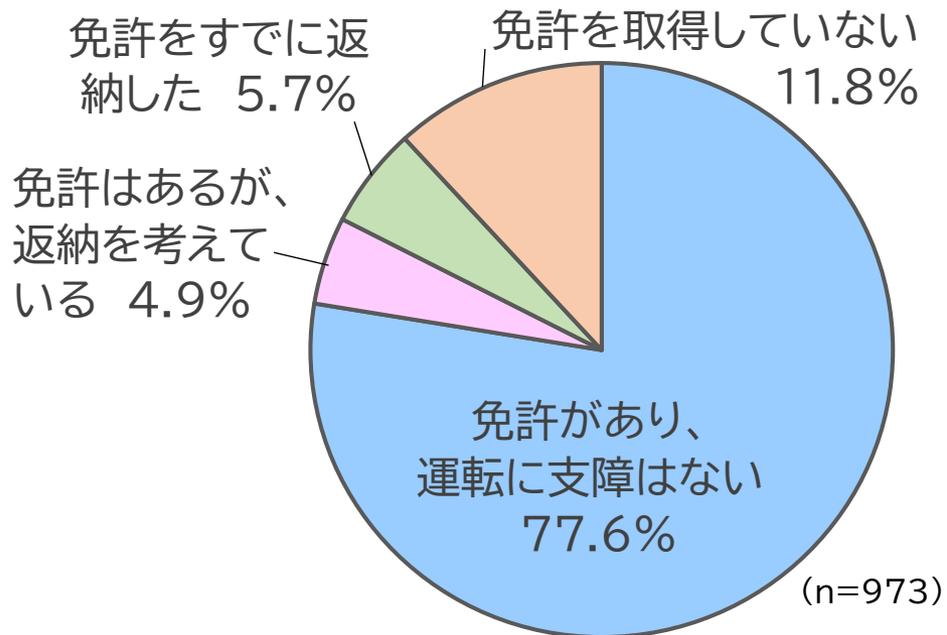


2. 調査結果(市民アンケート)

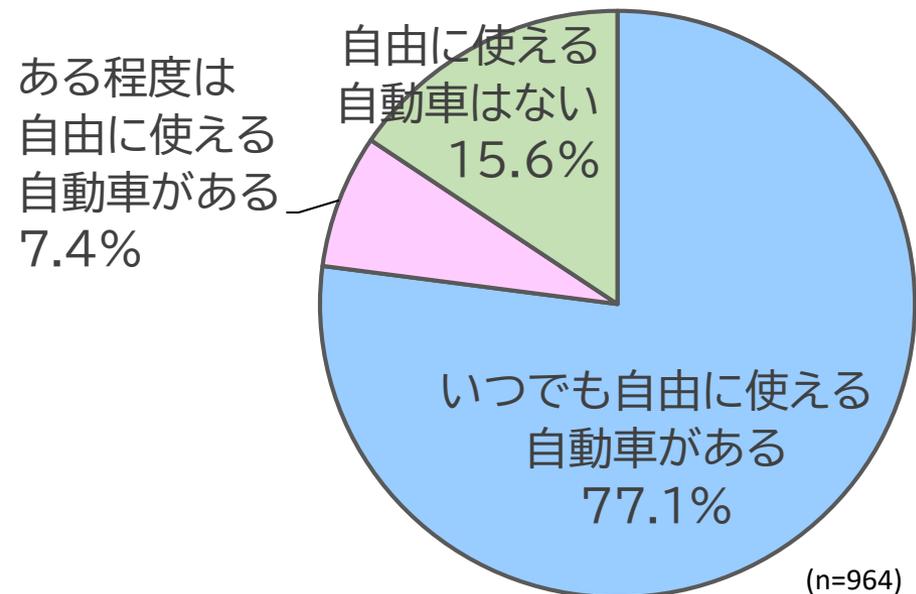
(3) 運転免許や自動車の所有状況

- ・運転免許の非保有、返納済、返納を考えている、を合わせて約2割
- ・自動車がいつでも自由に使えない人が約2割

自動車運転免許の保有状況



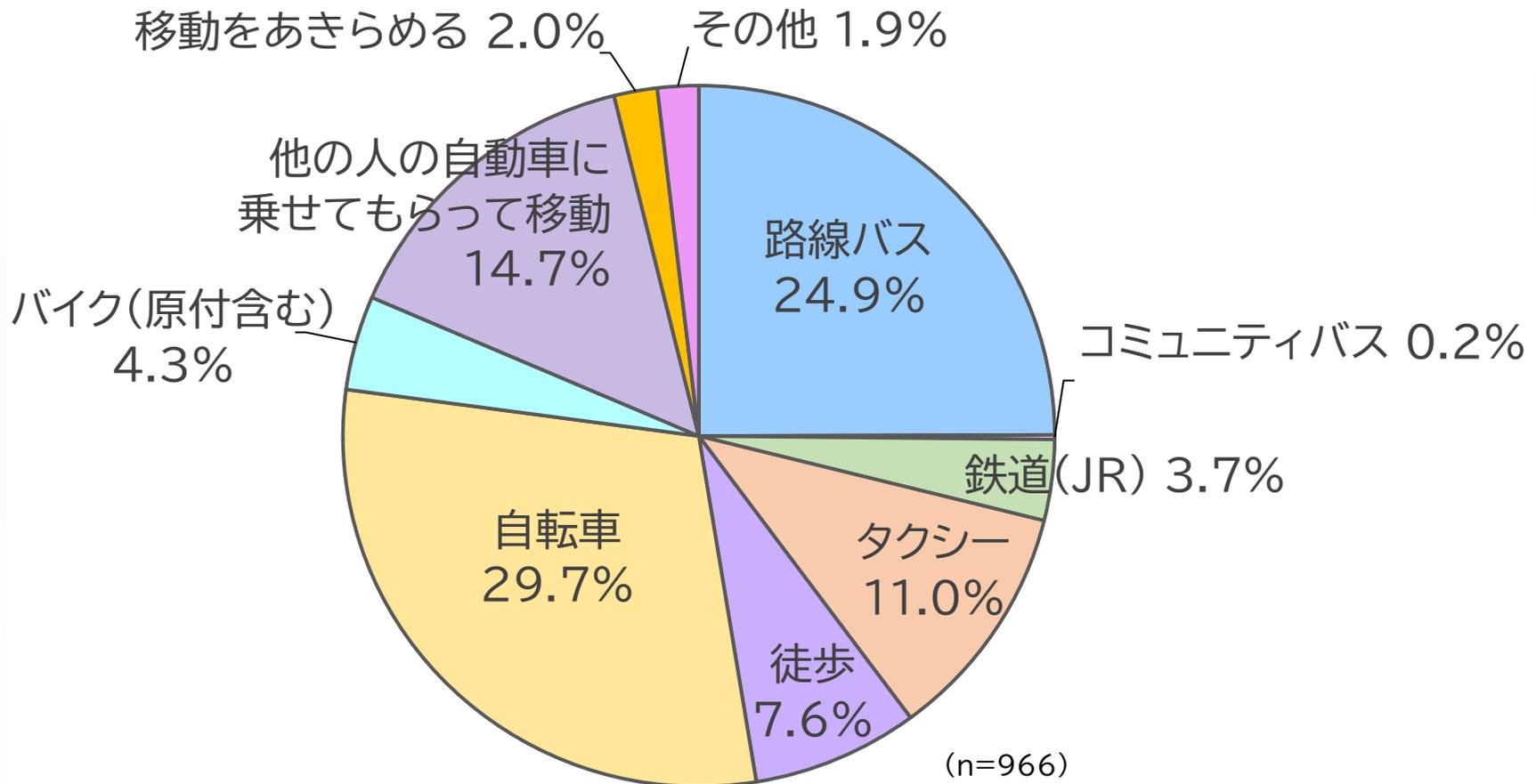
世帯の自動車所有状況



2. 調査結果(市民アンケート)

(3) 自動車が自由に使えないときの他の移動手段

・自転車、路線バス、他の人の自動車、タクシーの順

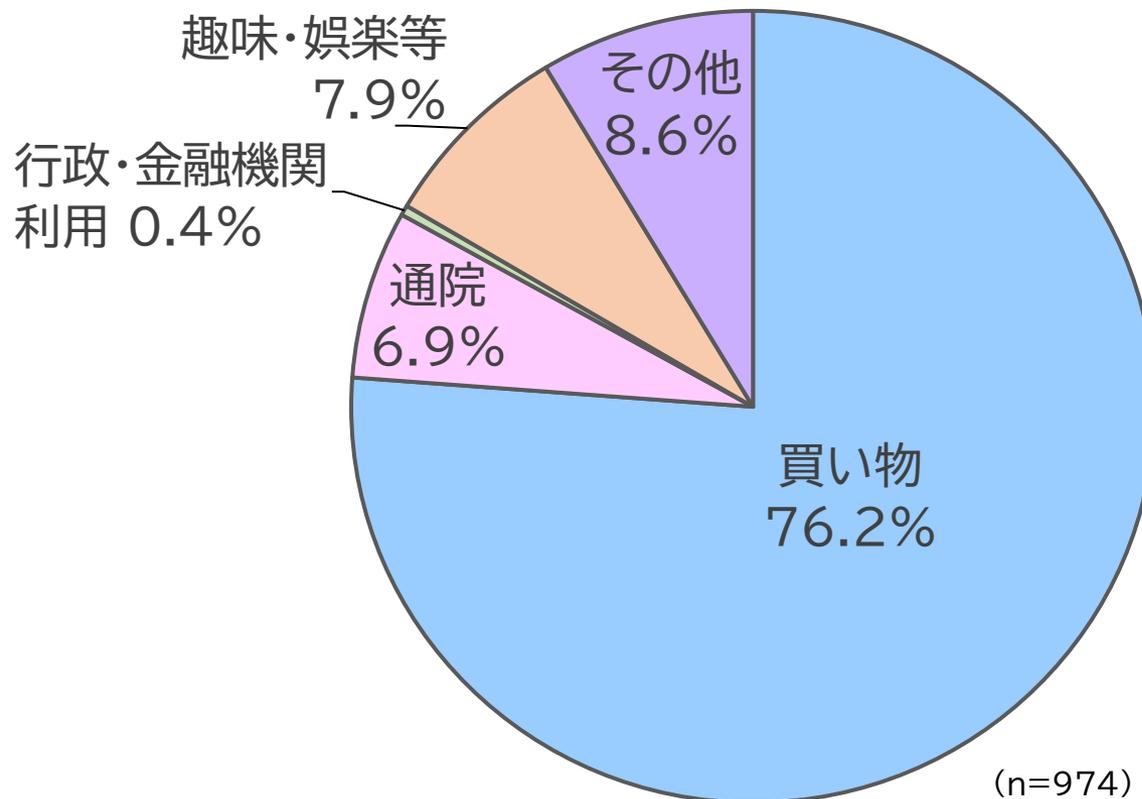


2. 調査結果(市民アンケート)

(4)全移動手段における外出の目的など

・最も多い外出目的は、買い物で、約8割

日常生活のなかで、最も多い外出目的

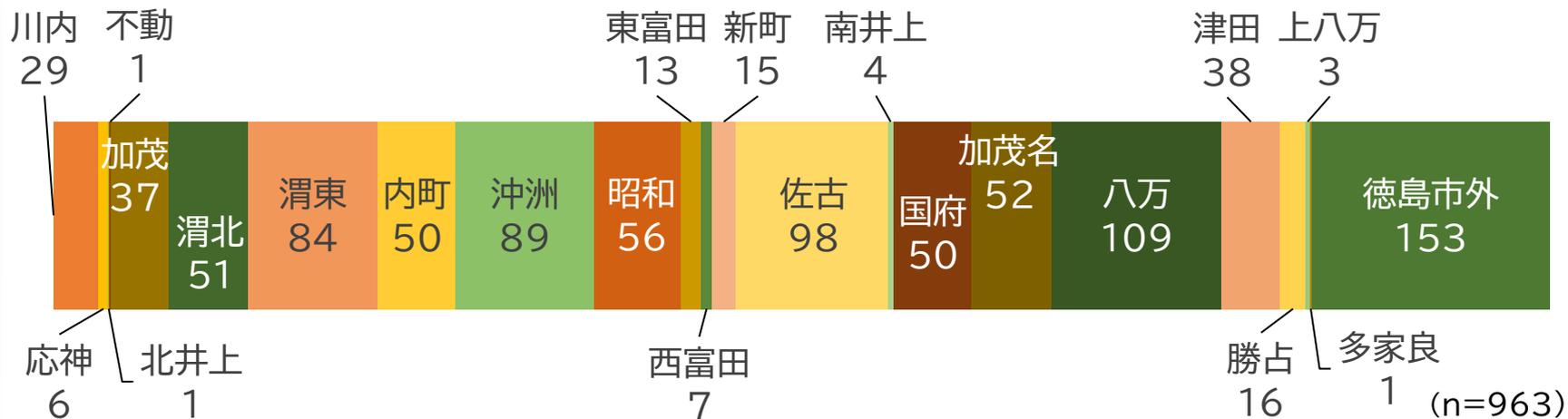


2. 調査結果(市民アンケート)

(4) 全移動手段における外出での目的地

- ・出かける地区(行先)としては、徳島市外、八万、佐古の順
- ・徳島市外は全体の約16%

最も出かける地区

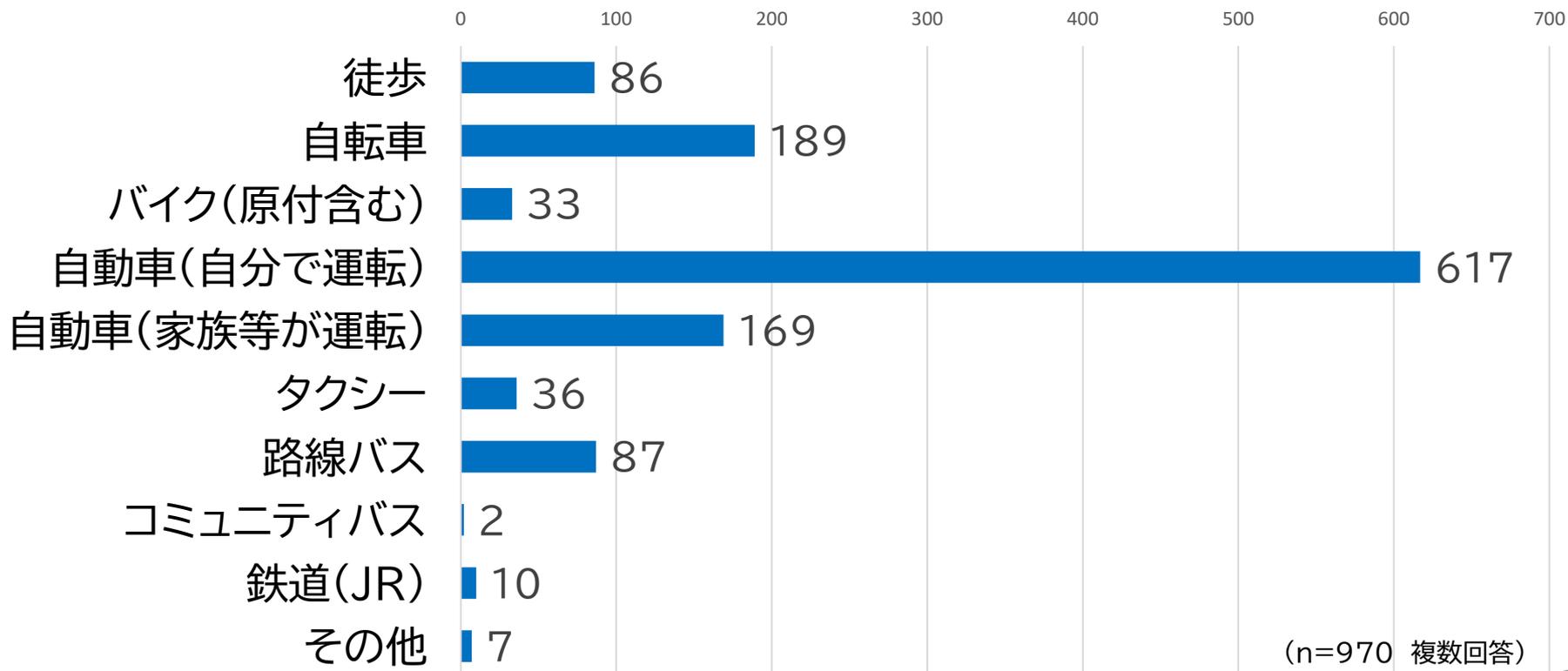


2. 調査結果(市民アンケート)

(5)日常生活における主な移動手段

・自動車(自分で運転)、自転車、自動車(家族等が運転)、路線バス、徒歩の順

日常生活のなかで、最も多い外出目的での主な移動手段

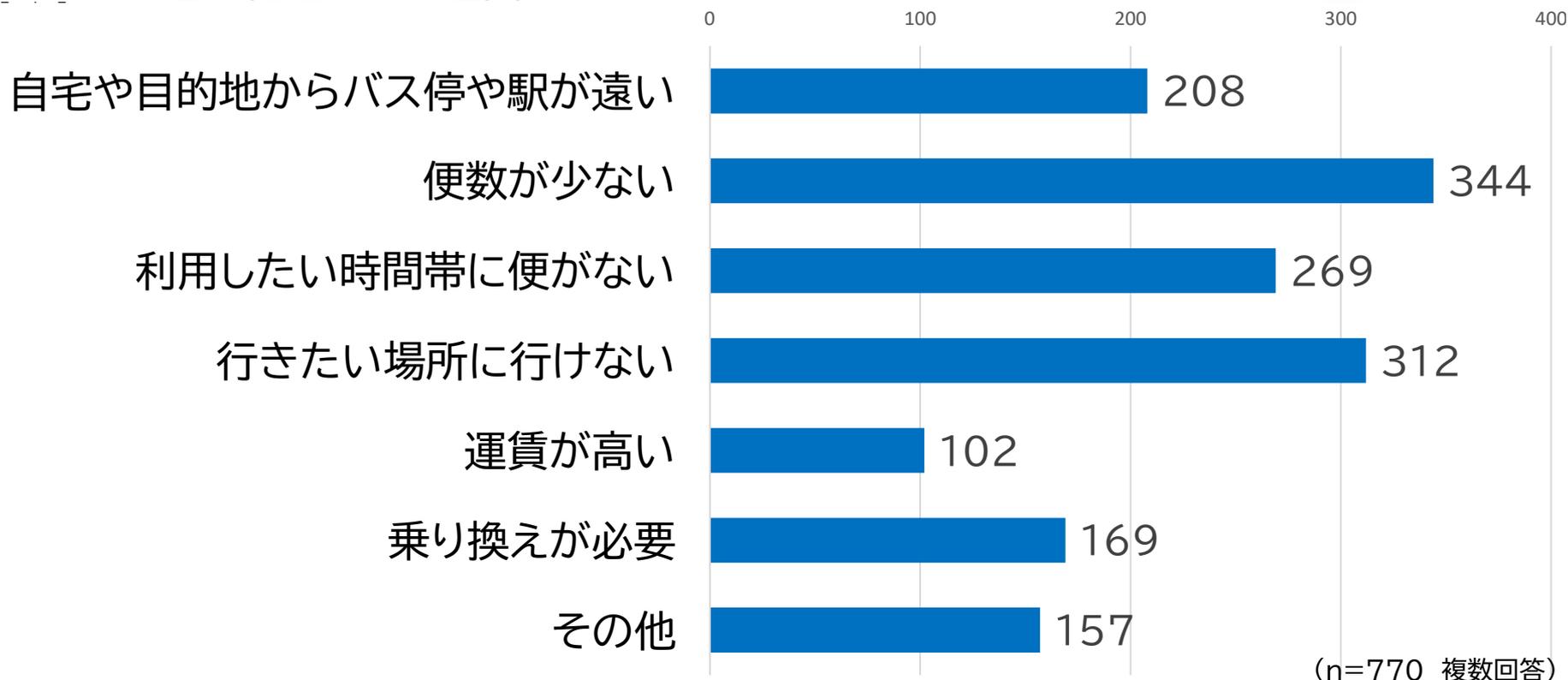


2. 調査結果(市民アンケート)

(5)日常生活における主な移動手段(公共交通を利用しない理由)

・便数が少ない、行きたい場所にいけない、利用したい時間帯に便がないの順

公共交通を利用しない理由

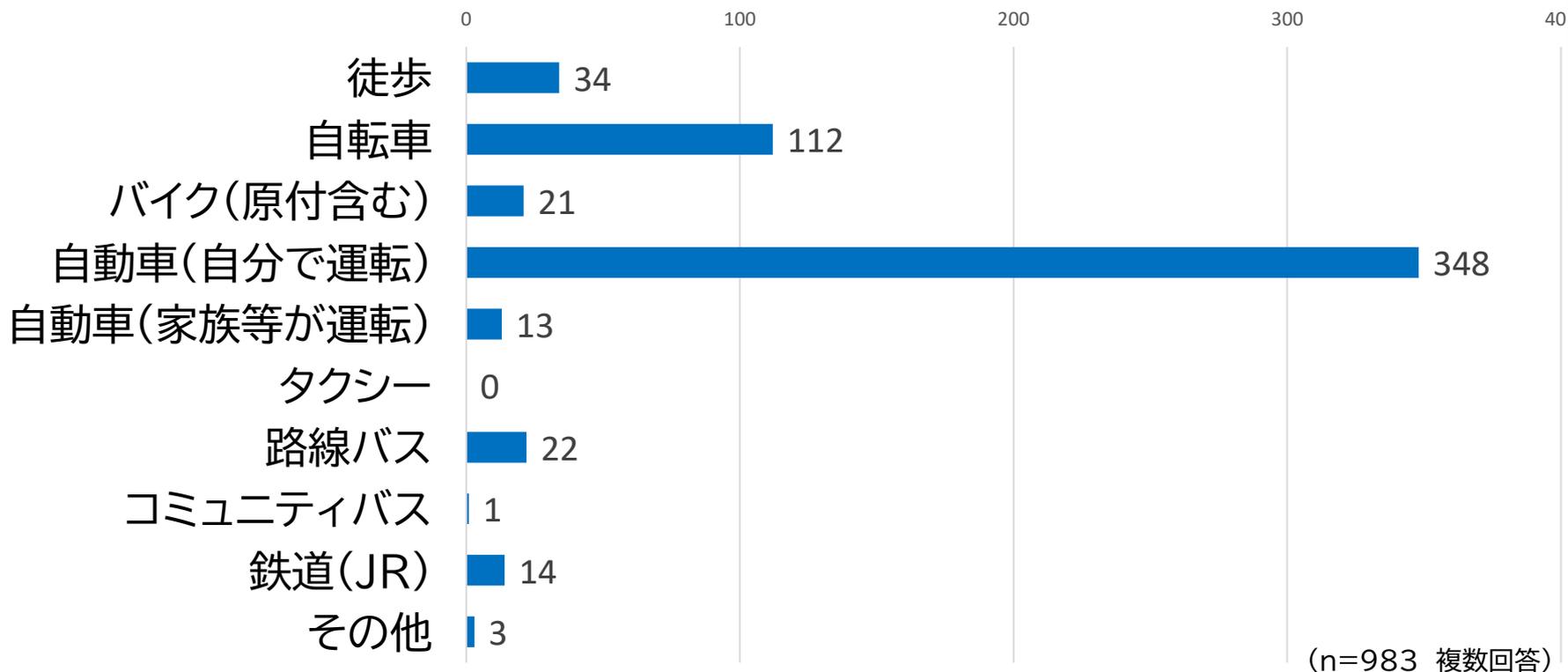


2. 調査結果(市民アンケート)

(6)通勤・通学(今の移動手段)

- ・主な移動手段は、自動車(自分で運転)、自転車、徒歩などの順
- ・路線バスと鉄道を合計しても約6%

通勤通学での主な移動手段

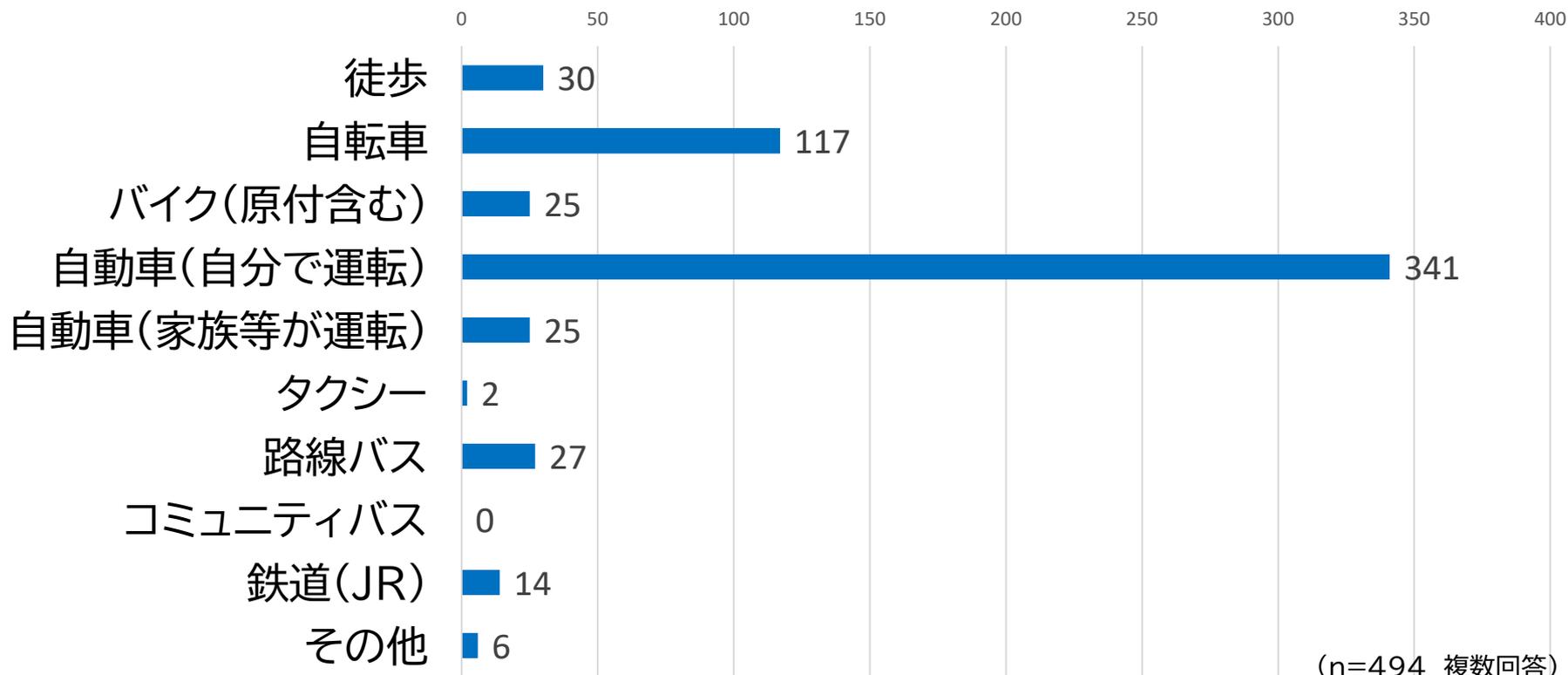


2. 調査結果(市民アンケート)

(6) 通勤・通学(コロナ禍前の移動手段)

・コロナ禍前においても、自動車(自分で運転)、自転車、徒歩の順で、現在の傾向とほとんど変わっていない

コロナ禍前(2019年12月以前)の通勤・通学の移動手段

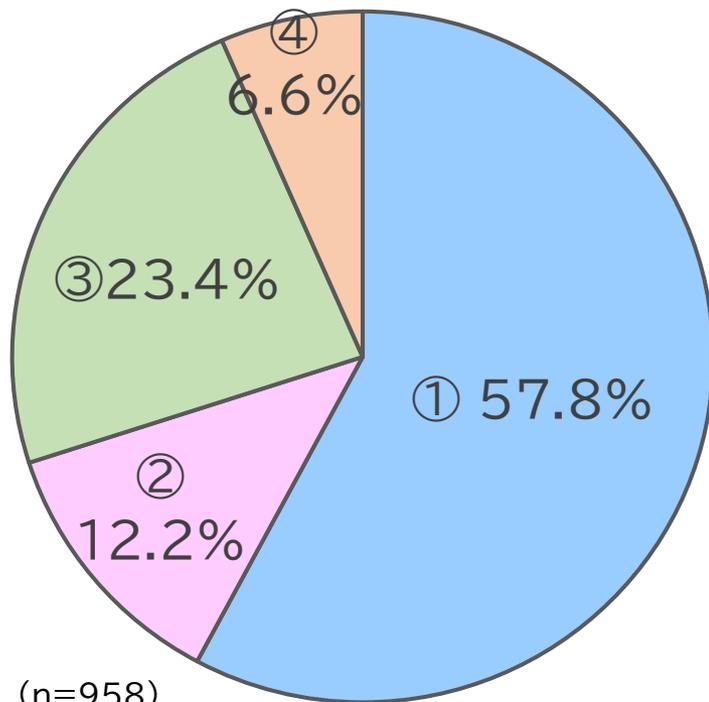


2. 調査結果(市民アンケート)

(7) 今後の公共交通のあり方について

・「市内の路線バスなどの公共交通について、どのような方向で取り組むべきか」の質問に対しては、約6割の人が今より充実させるべきと回答

公共交通の方向性



- ① 運転免許を持たない人や地球環境保全のため、いまよりもっと充実させていくべきだ
- ② いまの水準で維持していくべきだ
- ③ 人口や利用者の減少などにより、公共交通が少なくなるのはやむを得ない
- ④ その他

3. 調査概要(利用者アンケート)

- *目的 公共交通の利用実態や考え方を把握
- *対象 公共交通利用者
- *日時 令和5年8月4日(金曜)、8月5日(土曜)
- *場所 JR徳島駅、徳島駅前バスターミナル、
イオンモール徳島、四国大学前、
県立中央病院・大学病院前(8/4のみ)、
南海フェリー乗り場、タクシー車内で配布
- *方法 上記場所で直接配布し、郵送もしくはWebで回答

4. 調査結果(利用者アンケート)

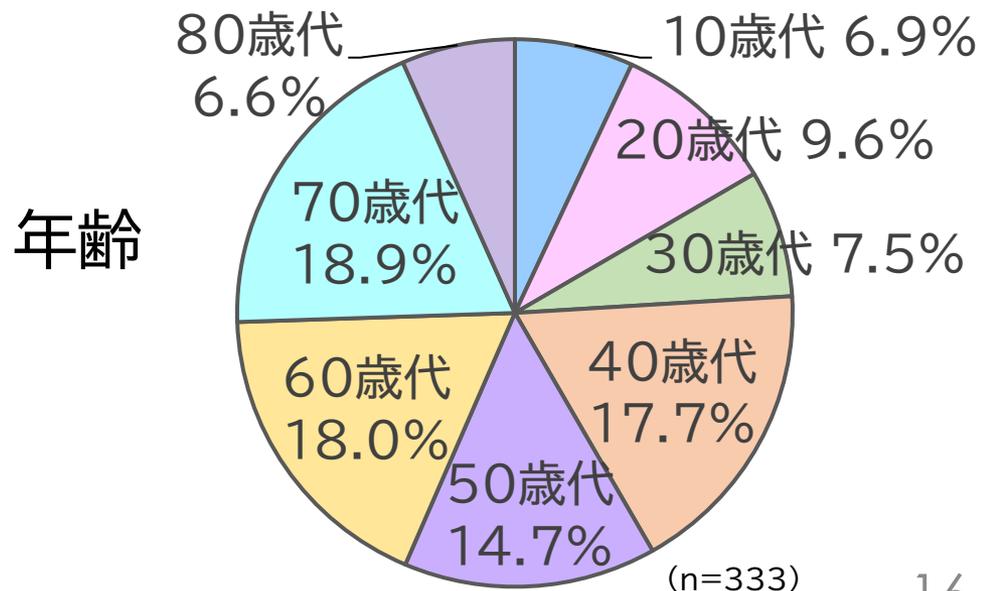
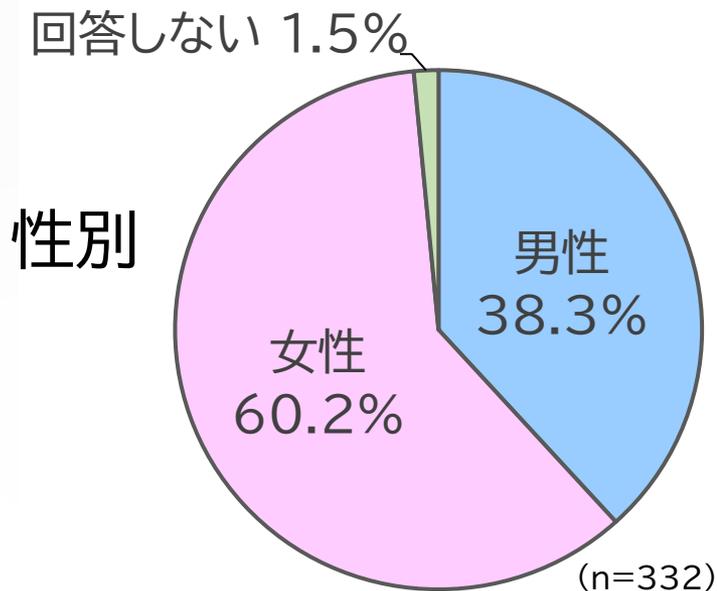
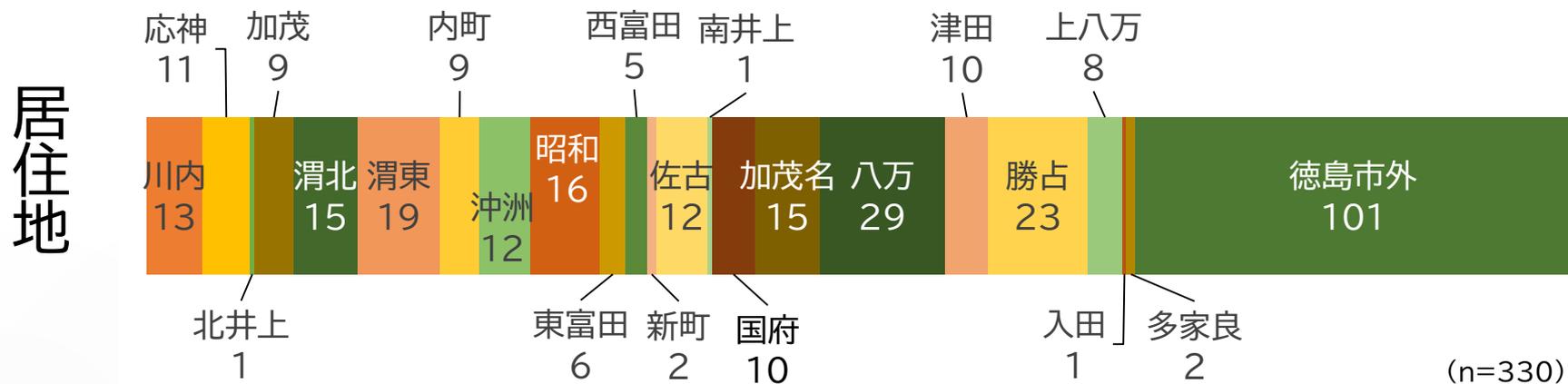
(1)回収状況

配布数	1,416
郵送による回収票数	251
Webによる回収票数	84
計	335

8/31現在

4. 調査結果(利用者アンケート)

(2) 回答属性

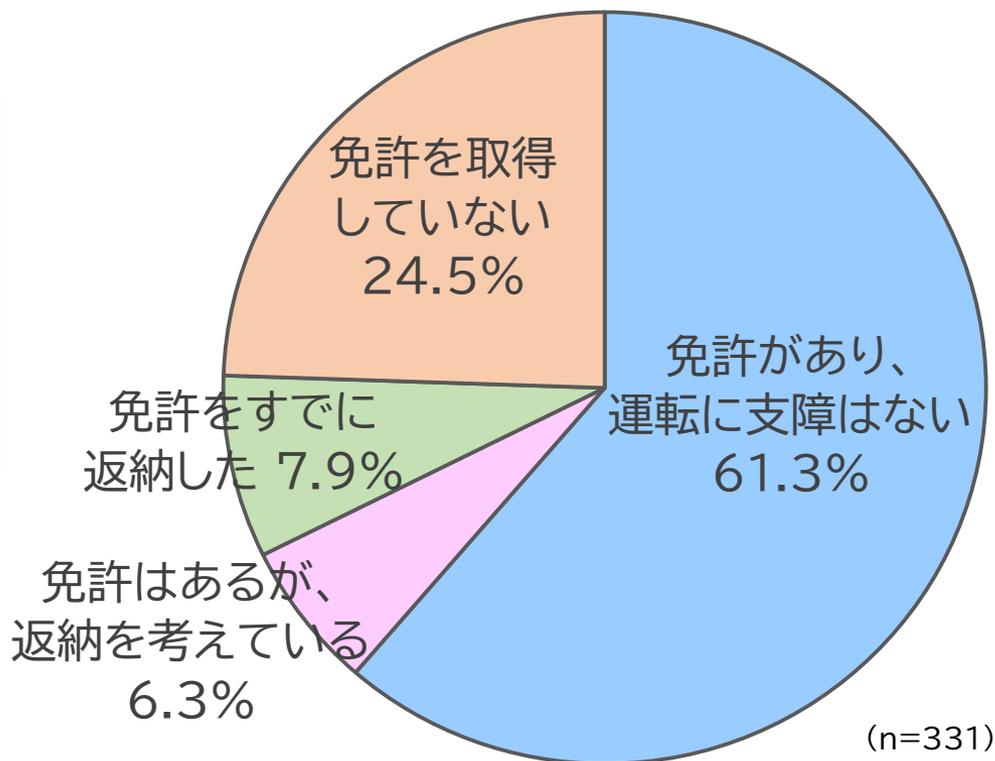


4. 調査結果(利用者アンケート)

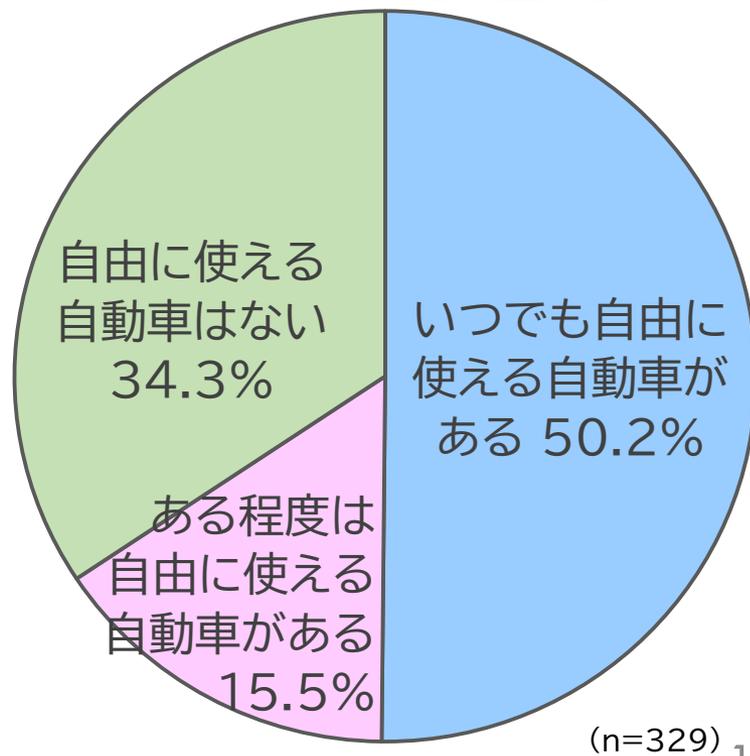
(3) 運転免許や自動車の所有状況

- ・運転免許の非保有、返納済、返納を考えている、を合わせて約4割
- ・自動車がいつでも自由に使えない人が約5割

自動車運転免許の保有状況



世帯の自動車所有状況

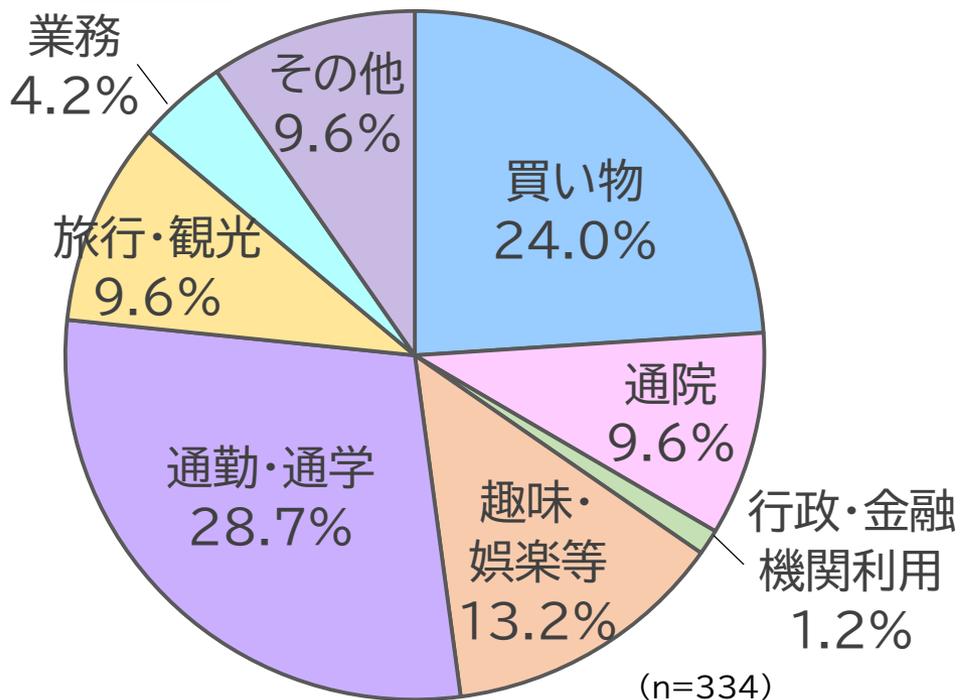


4. 調査結果(利用者アンケート)

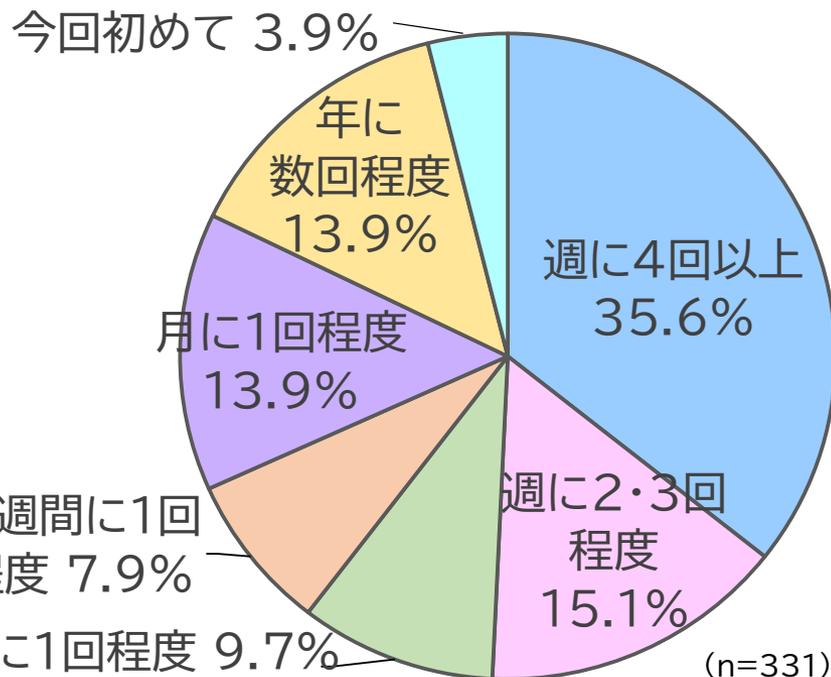
(4) 移動目的、利用頻度

- ・移動目的は、通勤・通学が最も多く、次いで買い物、趣味・娯楽等、旅行・観光の順
- ・利用頻度は、週4回以上が最も多くなり、次いで週に2・3回程度、月1回程度及び年に数回程度の順

本日の移動目的



本日利用した移動手段の利用回数

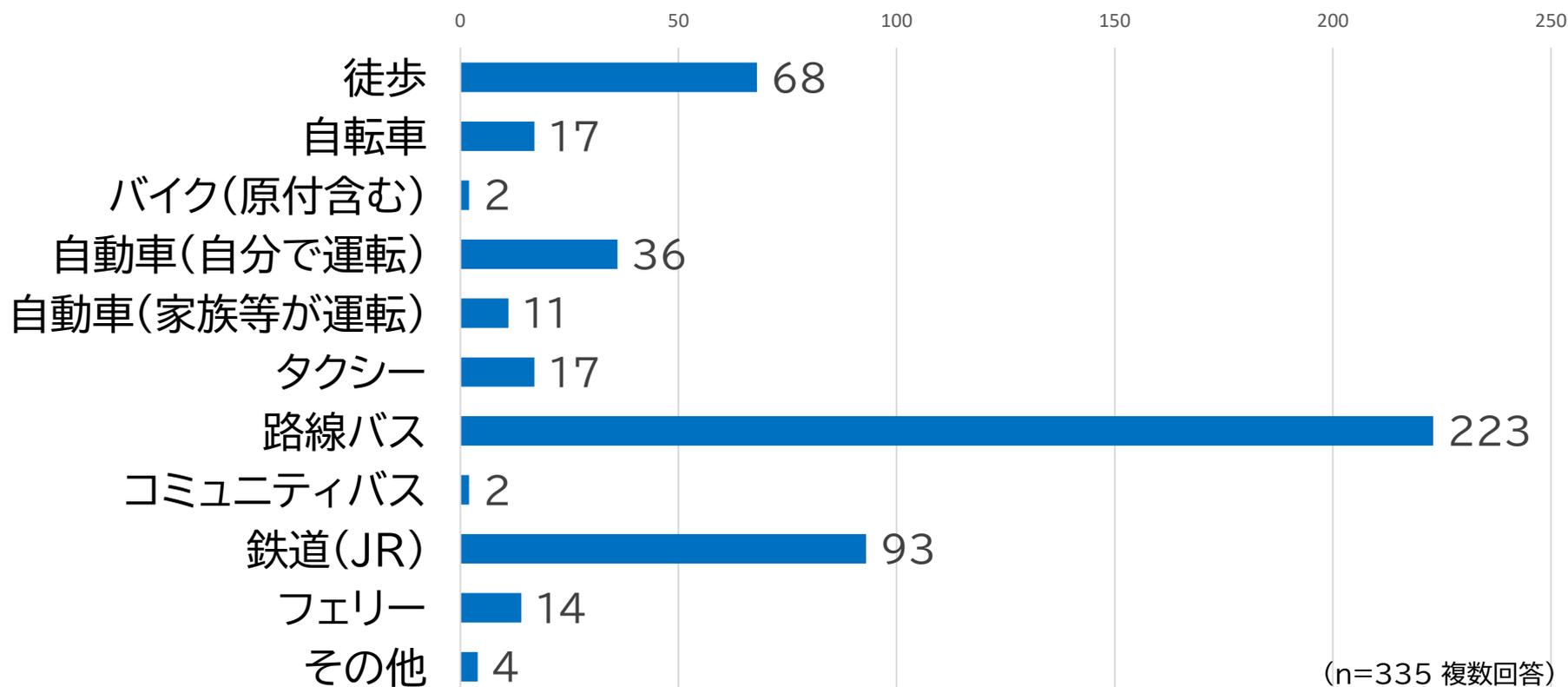


4. 調査結果(利用者アンケート)

(5) 移動手段

・路線バス、鉄道(JR)、徒歩の順

本日利用した移動手段

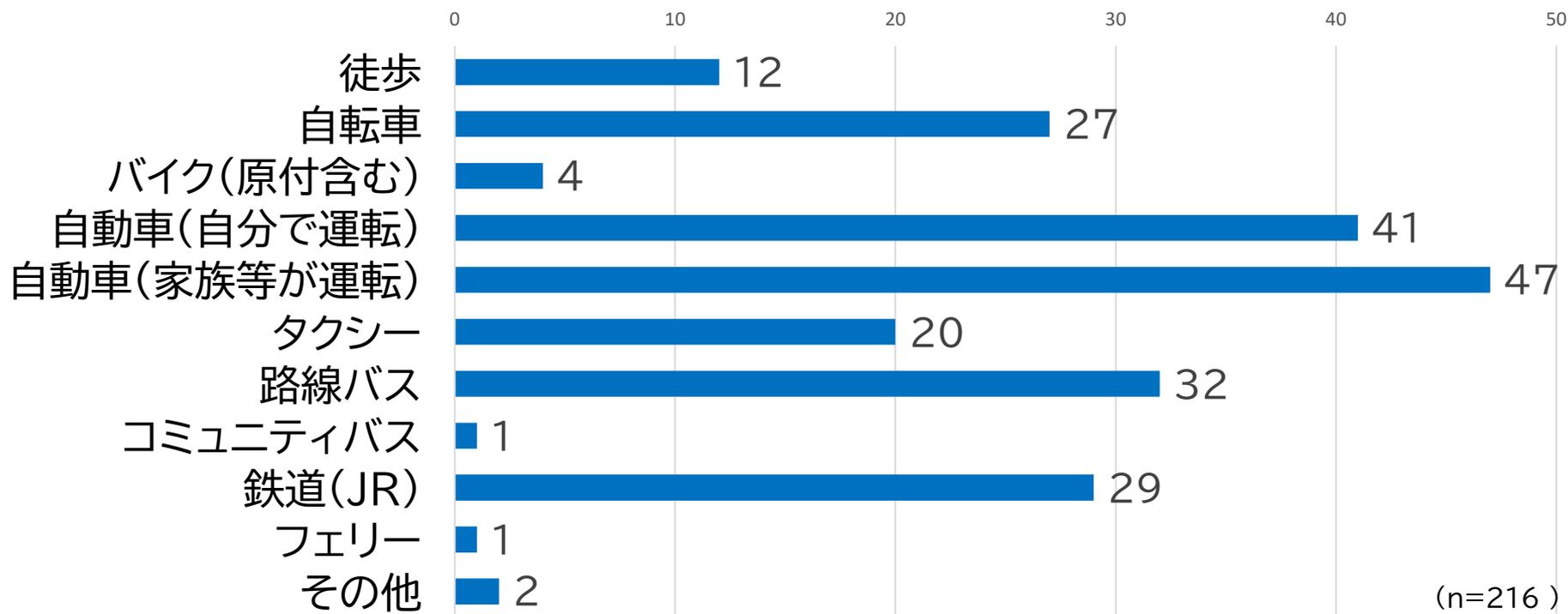


4. 調査結果(利用者アンケート)

(6)回答者の移動手段の利用特性

・本日利用した移動手段以外を利用すると回答した216人(約6割)の多くが、自動車(家族等が運転)や自動車(自分が運転)を利用

本日利用した移動手段以外の利用

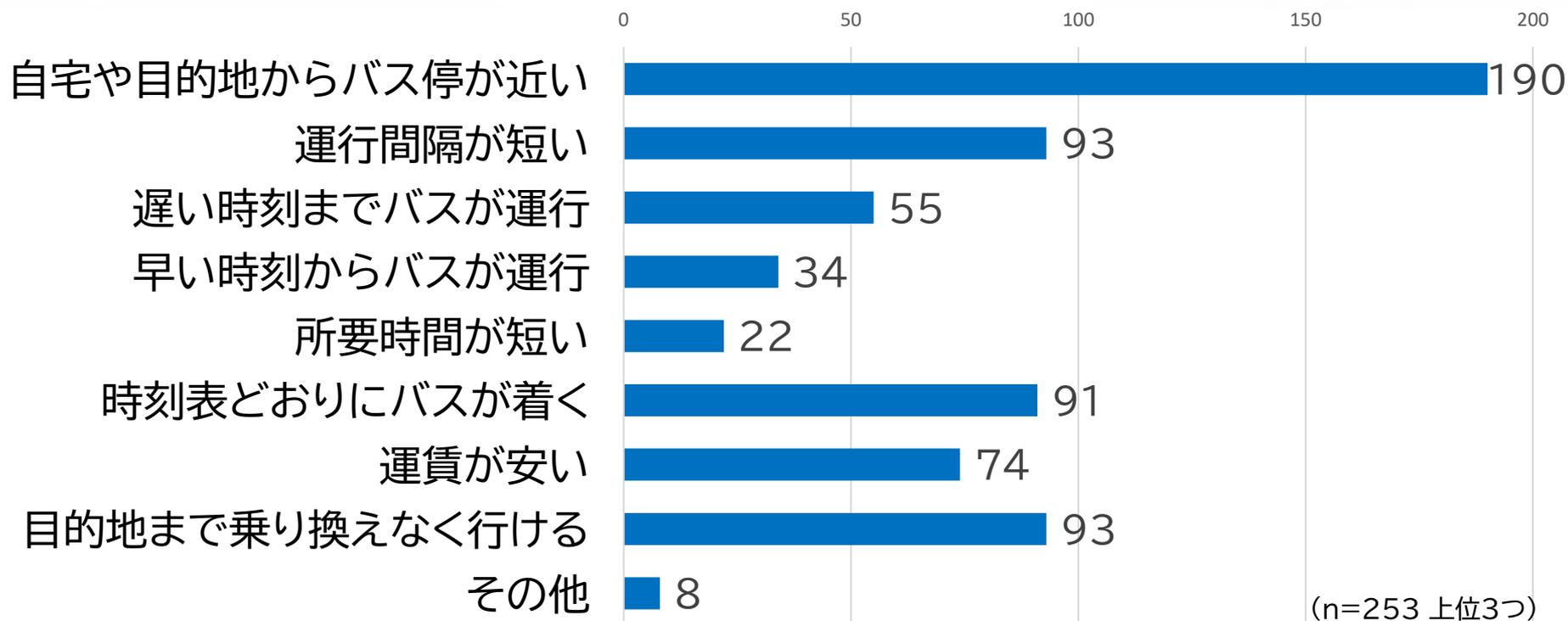


4. 調査結果(利用者アンケート)

(7) 路線バスを利用する上で重要と考えること

- ・自宅や目的地がバス停に近いことが最も多く、次いで、運行間隔が短いことや目的地まで乗り換えずに行けること、時刻表通りにバスが着くことの順

路線バスを利用する上で重要なサービス

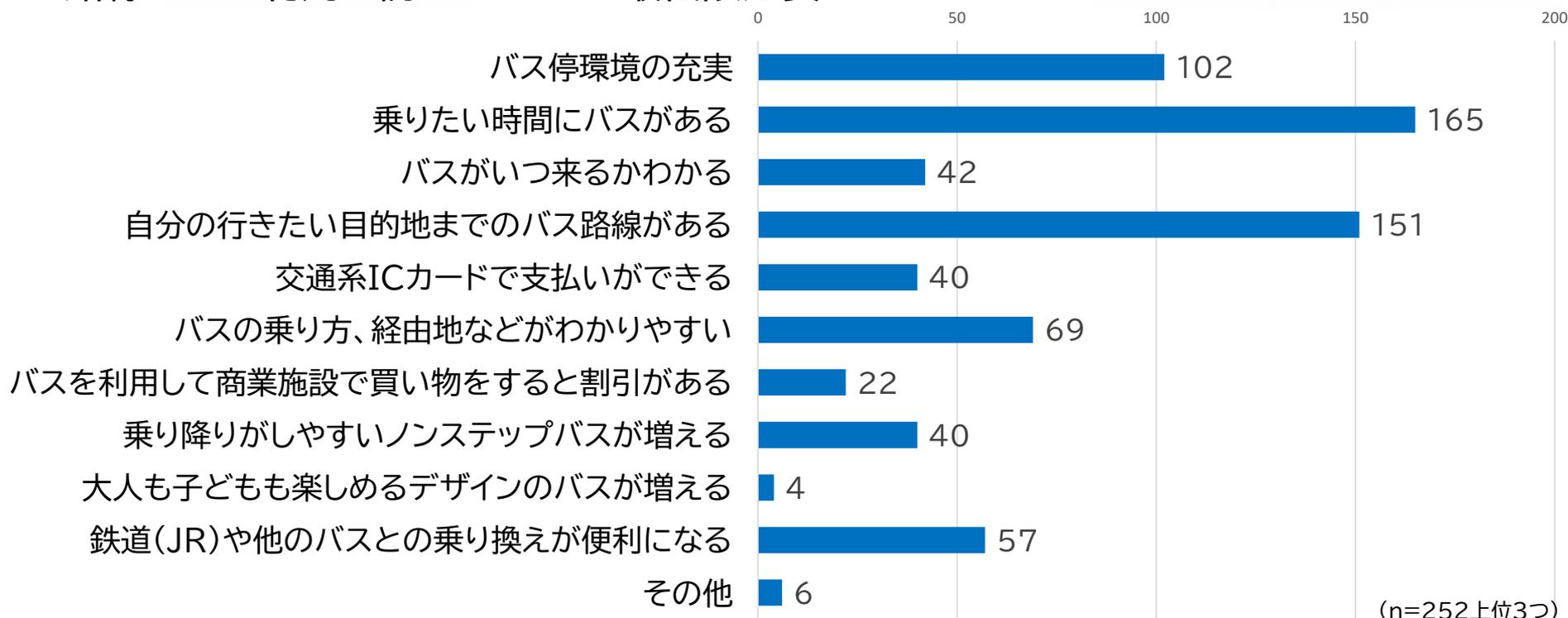


4. 調査結果(利用者アンケート)

(7)路線バスを利用し続けるために最低限必要なこと

・乗りたい時間にバスがあることが最も多く、次いで目的地までのバス路線があることや、バス停環境の充実があげられている。

路線バスを利用し続けるために最低限必要なこと



5. 調査概要(事業者アンケート)

- * 目的 移動実態把握調査だけでは把握しきれない、移動に関わる潜在ニーズを調査
- * 対象 バス事業者(2)、タクシー事業者(2)、観光関係団体(1)、福祉関係団体(1)、大規模商業施設(2)
- * 日時 令和5年8月
- * 方法 直接対面し聞き取りあるいは、調査票で回答

6. 調査結果(事業者アンケート)

(1)利用者増への取り組み

- ・パターンダイヤ導入によるわかりやすい・使いやすい運行ダイヤを実施(バス事業者A)
- ・ほかの交通モードとの連携を実施(バス事業者A)
- ・大規模商業施設経由による路線を検討(バス事業者B)

(2)バスをはじめとした公共交通の改善点

- ・ICカードや、バス停の上屋・ベンチ等の設置要望は多い(バス事業者A)
- ・バスロケーションシステム「とくしまバスNavi いまドコなん」がわかりづらいなどの意見あり(観光関連団体)
- ・路線バスのわかりやすい情報の掲載や多言語対応、その情報発信が必要(観光関連団体)



運行ダイヤの改善やキャッシュレス決済の導入など、
わかりやすく、使いやすい環境の提供が必要

6. 調査結果(事業者アンケート)

(3) 運転手不足

- ・運転手がまったく足りない。2030年度に大幅減の見込みであり、抜本的な路線再編が必須(バス事業者A)
- ・ドライバーは高齢化するのみで給与も低いため、経済的に厳しい。若い人はほとんどいない(タクシー事業者A)
- ・運転手不足は変わらず。平均年齢は66歳で70～75歳の層が一番多い(タクシー事業者B)

(4) 定時運行等への課題

- ・朝・夕は渋滞しがちで、全方面遅延が発生している(バス事業者A)
- ・一般車両の路上駐車により運行に支障がある(バス事業者B)
- ・主要な施設の周辺で道路幅員が狭いなど、円滑な運行に支障(タクシー事業者A)



交通モードを問わず、運転手不足が深刻
交通渋滞や道路幅員などハード整備の面も課題

6. 調査結果(事業者アンケート)

(6) 観光交通への対応

- ・2019年に、外国人観光客が増加し、車両への積み残しが発生していたことから、今後外国人観光客が増加したときの対応が課題(バス事業者A)
- ・多客時(阿波おどり、マチアソビ、年末年始、GW)の増便や続行便の対応が課題(バス事業者B)
- ・特定路線(南海フェリーなど)で一時的な利用者の集中が課題(バス事業者B)

(7) その他の課題など

- ・バス停や最寄りの駅までの距離があるため、外出支援が必要な人が多いと感じている(福祉関連団体)



ピーク時に集中する需要への対応や、外出支援が必要な人への対応が課題

7. まとめ

(1)市民アンケート

- ・運転免許やいつでも使える自動車がない人
- ・自動車が自由に使えないときの移動手段
- ・日常生活の中で最も多い外出目的
- ・外出の目的地
- ・公共交通を利用しない理由
- ・今より公共交通を充実させるべきと考える人

約2割

自転車、路線バス、他の人の自動車
買い物

市外、八万、佐古

便数や場所に制約がある

約6割

(2)利用者アンケート

- ・調査日当日の移動手段
- ・路線バスを利用する上で重要なこと

- ・路線バスを利用し続けるために最低限必要なこと

路線バス、鉄道(JR)、徒歩

バス停の場所やダイヤ、乗り換え
の有無など

便数や場所、利用環境の充実

7. まとめ

(3)事業者アンケート

- ・わかりやすく、使いやすい公共交通サービスの提供が必要
- ・運転手不足が深刻な中で、ピーク時に集中する需要への対応や、外出支援が必要な人への対応が必要

(4)自由記述意見(一部)

- ・車内の混雑緩和
- ・経路検索のわかりやすさ、路線図や路線そのものがわかりやすいこと
- ・利用者数に応じたバスのサイズ
- ・EVバス導入など環境問題への対応
- ・自宅や目的地(の近く)まで行けるサービス

など